

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-253176  
 (43)Date of publication of application : 14.09.2000

(51)Int.CI. H04M 11/00  
 G06F 13/00  
 H04Q 7/38  
 H04M 1/27

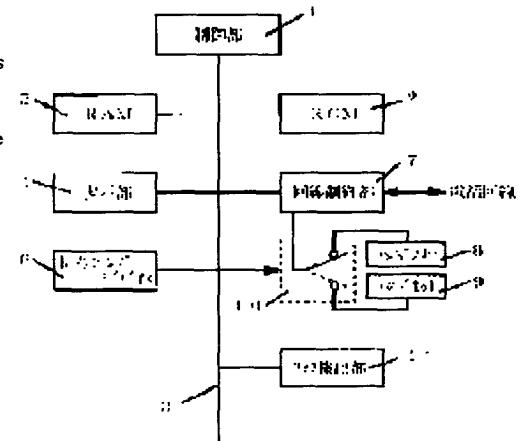
(21)Application number : 11-050773 (71)Applicant : SANYO ELECTRIC CO LTD  
 TOTTORI SANYO ELECTRIC CO LTD  
 (22)Date of filing : 26.02.1999 (72)Inventor : HASE YASUHIKO

## (54) INFORMATION COMMUNICATING TERMINAL DEVICE

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent undesired dial calls in a WWW reading mode by providing a means, which displays the telephone numbers included in the telephone number information (telephony URL) on a WWW browser, a means which indicates the dial calls of telephone numbers and a means which carries out dial calling of the telephone numbers, in response to the indication of the dial call indication means.

SOLUTION: If a reader clicks the telephony URL that is shown at a display part by means of a pointing device 6, a control part 1 extracts a telephone number from the clicked telephony URL. Then the extracted telephone number is displayed at the part 4, together with a message inquiring the necessity for the dial call of the telephone number. Then the part 1 opens once a telephone circuit and then controls a circuit control part 7 and a switching control part 10 to connect a hand-free device 8 to the telephone circuit and also to connect a handset 9 to the telephone circuit. Then the part 1 controls the part 7 to perform a dial calling of the extracted telephone number.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 21.11.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-253176

(P2000-253176A)

(43)公開日 平成12年9月14日 (2000.9.14)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコ-ト <sup>8</sup> (参考)
H 04 M 11/00	3 0 3	H 04 M 11/00	3 0 3 5 B 0 8 9
G 06 F 13/00	3 5 4	G 06 F 13/00	3 5 4 D 5 K 0 3 6
H 04 Q 7/38		H 04 M 1/27	5 K 0 6 7
H 04 M 1/27		H 04 B 7/26	1 0 9 Q 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全4頁)

(21)出願番号	特願平11-50773	(71)出願人	000001889 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号
(22)出願日	平成11年2月26日(1999.2.26)	(71)出願人	000214892 鳥取三洋電機株式会社 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地
		(72)発明者	長谷 泰彦 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取 三洋電機株式会社内
		(74)代理人	100076794 弁理士 安富 耕二 (外1名)

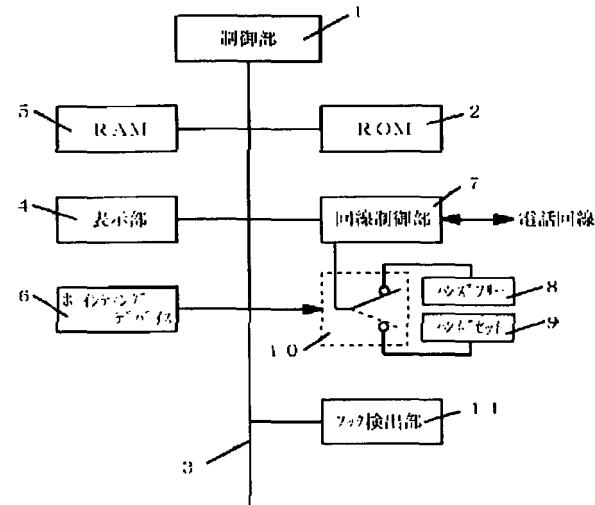
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 情報通信端末装置

(57)【要約】

【目的】 WWW閲覧中の不所望なダイヤル発信を防止する。

【構成】 表示部4にWWWブラウザ上のテレフォニーURL中の電話番号を取り出し表示すると共に、表示された電話番号のダイヤル発信がポインティングデバイス6により指示されると、上記電話番号を回線制御手段7よりダイヤル発信する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 WWWブラウザ上のテレフォニーURL中の電話番号を取り出し表示する手段と、該手段により表示された電話番号のダイヤル発信を指示する手段と、該指示手段の指示に応答して上記電話番号をダイヤル発信する手段とを備えたことを特徴とする情報通信端末装置。

【請求項2】 表示されたWWWブラウザ上のテレフォニーURLを指定する手段と、該手段により指定されたテレフォニーURL中の電話番号を取り出し表示する手段と、該手段により表示された電話番号のダイヤル発信を指示する手段と、該指示手段の指示に応答して上記電話番号をダイヤル発信する手段とを備えたことを特徴とする情報通信端末装置。

【請求項3】 請求項1又は2の情報通信端末装置であって、更にハンドセットと、該ハンドセットのフック状態を検出する手段とを備え、上記指示手段は上記フック状態検出手段による上記ハンドセットのオフフック検出に応答して上記ダイヤル発信を指示することを特徴とする情報通信端末装置。

【請求項4】 請求項1～3の上記表示手段は上記電話番号と共にダイヤル発信の要否を問うメッセージを表示することを特徴とする情報通信端末装置。

【請求項5】 請求項4の情報通信端末装置であって、更にハンズフリー装置と、上記メッセージ中の所定領域がクリックされたことを検出する手段と、該クリック検出手段の検出結果に応答して上記ハンズフリー装置を電話回線に接続する手段とを備え、上記指示手段はクリック検出手段の検出結果に応答して上記ダイヤル発信を指示することを特徴とする情報通信端末装置。

【請求項6】 表示されたWWWブラウザ上のテレフォニーURLを指定する手段と、該手段により指定された際テレフォニーURL中の電話番号の要否を問うメッセージを表示する手段とを備えたことを特徴とする情報通信端末装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、インターネットのWWW閲覧機能を有する情報通信端末装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 近年、情報通信手段としてインターネットが広く普及し、老若男女を問わず多くの人々が利用するようになってきた。

【0003】 一般的にインターネットの利用は、電話回線を介してプロバイダに接続する必要がある。このため、インターネットに接続可能な情報通信端末装置には電話機能が必須となっている。また、WWWブラウザには、閲覧者が問合せ等を電話でリアルタイムに行えるよう電話番号情報（テレフォニーURL（*Universal Resource Locator*））を表示した

ものもある。

【0004】 そこで、特開平10-336349号公報（H04M11/00）にも記載されているように、WWWブラウザ上に表示されたテレフォニーURLをクリックすることにより、テレフォニーURL中の電話番号に基づいて自動的にダイヤル発信を可能とする装置が提案されている。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上記公開公報に記載された構成は、単にテレフォニーURLをクリックすると直ちにダイヤル発信を行うものであるため、WWW閲覧中に誤ってテレフォニーURLをクリックしてしまい、不所望なダイヤル発信を行ってしまうという問題があった。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記課題に鑑みてなされたもので、その特徴は、WWWブラウザ上のテレフォニーURL中の電話番号を取り出し表示する手段と、該手段により表示された電話番号のダイヤル発信を指示する手段と、該指示手段の指示に応答して上記電話番号をダイヤル発信する手段とを備えたことにある。

## 【0007】

【発明の実施の形態】 図1は本発明を適用してなる情報通信端末装置の一実施例の主要回路構成を示すブロック図である。

【0008】 図1において、制御部1は例えばマイクロコンピュータからなり、予めプログラムメモリ（ROM）2に格納されている制御プログラムに従って以下で説明する各部の制御を司る。尚、制御部1と以下に説明する各部とはバス3により接続されている。

【0009】 表示部4は例えば液晶表示器からなり、制御部1の制御の下に各種表示を行う。メモリ（RAM）5は例えば半導体ランダムアクセスメモリ等の書換可能な高速アクセス記憶装置からなり、制御部1の制御の下に上記表示部4に表示されるデータ等が格納される。ポイントティングデバイス6は例えばマウス、トラックボール等からなり、上記表示部4に表示されたポインタの移動及びポインタが位置する部分に表示されている内容の選択（クリック）等に用いられる。

【0010】 回線制御部7は制御部1の制御の下にダイヤル発信を行うと共に電話回線を制御部1側とハンズフリー装置8及びハンドセット9を備えた通話手段側とに択一的に切換接続する。切換制御部10は制御部1の制御の下に上記通話手段のハンズフリー装置8とハンドセット9とを電話回線に択一的に切換接続する。フック検出部11は上記ハンドセット9のフック状態を検出し制御部1に知らせる。

【0011】 次に本実施例装置の動作を説明するに、今、本実施例装置が電話回線を介してプロバイダと接続しWWW閲覧中であるとした時に、閲覧者がポイント

ングデバイス6を用いて上記表示部4上に表示されたテレフォニーURLをクリックしたとすると、本実施例装置は図2に示すフローチャートに従った動作を行う。

【0012】即ち、まずS1ステップにおいて、制御部1は、クリックされたテレフォニーURL中の電話番号を取出す。尚、この電話番号は、表示部4に表示されているテレフォニーURLの表示データの一部として表示されていることもあるが、上記電話番号は少なくとも上記テレフォニーURLに対応づけてその時点で表示部4に表示中のブラウザの非表示データとしてメモリ5中にプロバイダより送信されている。従って、電話番号が表示データとなっていない場合であっても、上記電話番号は、クリックされたテレフォニーURLに対応して上記メモリ5に格納されている非表示データから取出すことができる。

【0013】続くS2ステップでは、制御部1は、S1ステップで取出した電話番号を例えれば図3に示すようにダイヤル発信の要否を問うメッセージ12と共に表示部4に表示する。

【0014】そして、制御部1は、次のS3ステップにおいてS2ステップで表示されたメッセージ12中の「いいえ」又は「はい」と表示された領域がポインティングデバイス6の操作によりクリックされたか否かを判定する。また、続くS4ステップでは、制御部1は、フック検出部11の検出結果に基づいてハンドセット9がオフフックされたか否かを判定する。即ち、上記S3、S4ステップでは、制御部1は、上記S1ステップで取出し、S2ステップで表示部4に表示した電話番号のダイヤル発信の要否を判定する。

【0015】上記S3ステップにおいて、表示メッセージ12中の「いいえ」と表示された領域がクリックされたと判定すると、制御部1は、上記メッセージ12の表示を中止し、テレフォニーURLがクリックされる直前の状態に戻る。

【0016】また、上記S3ステップにおいて、表示メッセージ12中の「はい」と表示された領域がクリックされたと判定すると、制御部1は、処理をS5ステップに進め、更に、S4ステップにおいて、ハンドセット9がオフフックされたことを検出すると、制御部1は、処理をS5ステップに進める。

【0017】制御部1は、上記S5ステップでは、一旦電話回線を開放した後に電話回線にハンズフリー装置8を接続すべく回線制御部7及び切換制御部10を制御し、また、上記S6ステップでは、一旦電話回線を開放した後に電話回線にハンドセット9を接続すべく回線制

御部7及び切換制御部10を制御する。その後、制御部1は処理をS7ステップに進め、S1ステップで取出した電話番号をダイヤル発信すべく回線制御部7を制御する。

【0018】このように本実施例によれば、WWWブラウザ上のテレフォニーURLをクリックすると、このURLに含まれる電話番号を読み取り表示するので、ダイヤル発信前に発信電話番号を確認できる。また、上記取出した電話番号のダイヤル発信はこの電話番号が表示されるメッセージ12上の所定領域をクリックするか、又はハンドセット9をオフフックすることにより行えるのでダイヤル発信の操作性が向上する。

【0019】尚、本実施例では、電話回線を1回線しか有さない装置に本発明を適用した場合について説明したため、S7ステップにおけるダイヤル発信前にS5又はS6ステップにおいて一旦電話回線を開放する必要があったが、電話回線を2回線以上備えた装置では、未使用回線を利用してダイヤル発信を行えばよく、この場合にはWWWブラウザの閲覧と電話通話とを並行して行える。

【0020】

【発明の効果】本発明によれば、WWWブラウザ上のテレフォニーURLをクリックすると、一旦このURLに含まれる電話番号を読み取り表示し、閲覧者のダイヤル発信指示を待ってダイヤル発信を開始するので、WWW閲覧中の不希望なダイヤル発信を防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用してなる情報通信端末装置の主要回路構成を示すブロック図である。

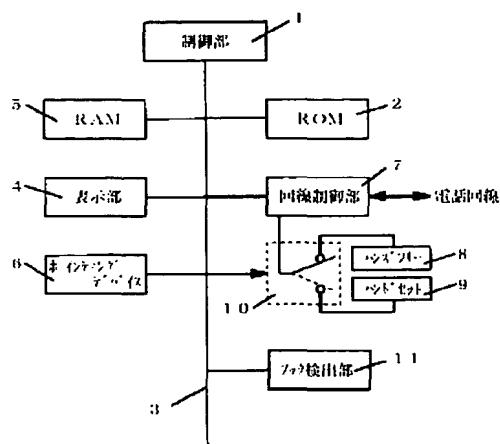
【図2】本実施例の動作を説明するためのフローチャートである。

【図3】本実施例の動作を説明するための模式図である。

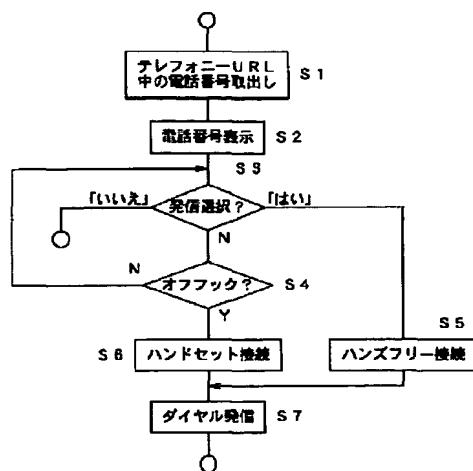
【符号の説明】

1	制御部
4	表示部
5	メモリ
6	ポインティングデバイス
7	回線制御部
8	ハンズフリー装置
9	ハンドセット
10	切換制御部
11	フック検出部
12	メッセージ

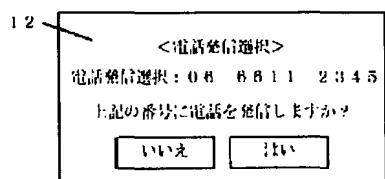
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B089 GA21 GB04 HA10 JA22 KA03  
 KB07 LB14  
 5K036 BB12 DD01 JJ03 JJ13  
 5K067 AA33 AA34 BB21 DD13 DD16  
 FF07 FF23 FF38 GG01 HH05  
 HH13 HH21 HH22  
 5K101 LL02 NN18 PP03 RR12